

公益社団法人 日本記者クラブ

2017年度事業計画

自 2017年4月 1日
至 2018年3月31日

1. 内外の要人を招いて、随時、昼食会や記者会見を行います。会員のジャーナリズム活動や報道を通し、広く国民が共有する情報となることにより国民の知る権利に貢献します。
2. 会員の報道活動の促進および職業倫理の向上をはかるため、講演会、研究会、見学会、研修会、国内取材団の派遣などを行います。
3. 会員の報道活動と国際相互理解の促進をはかるため、外国のジャーナリストと交流するほか、海外取材・視察団を派遣します。
4. 取材、報道あるいは評論活動などを通じてジャーナリストとして顕著な業績をあげ、ジャーナリズムの信用と権威を高めた記者を顕彰するため、日本記者クラブ賞受賞者、および同特別賞受賞者を選考し、表彰します。
5. 「日本記者クラブ会報」を毎月発行し、クラブの行事予定、事業活動、行事記録などを発表するとともに、会員間のコミュニケーションの場とし、ウェブサイトにも掲載します。
6. 会員だけでなく、インターネット利用者がクラブの活動に幅広くアクセスできるよう、ウェブサイトを運営します。会見動画や会見レポートなどのほか、重要な会見を記録し、全文を公開します。
7. 会員間あるいは会員と内外のニュースソースとの接触と交流を広げるため懇親会を開きます。
8. 大学または大学院でジャーナリズムを学ぶ学生会員の参加を促し、ジャーナリズム活動を理解する次世代の育成に貢献します。

日本記者クラブの公益社団法人としての「公益目的事業」は①内外の要人を招き、記者会見などを開催し、国民の知る権利に資する②すぐれた業績をあげたジャーナリストに日本記者クラブ賞を贈る③日本記者クラブ会報を発行し、インターネットを通じて良質な時事情報を開示し、重要な会見を全文保存し公開する——の3分野です。